

顛末書

| | |
|----------|---|
| 名 称 | 中野市豊田地域小学校統合準備委員会 第2回地域・PTA部会 |
| 日 時 | 平成29年3月23日(木) 午後6時～午後6時50分 |
| 会 場 | 豊田公民館 会議室 |
| 出席者 | <ul style="list-style-type: none"> ・出席委員7名 部会長 外谷博美 職務代理 丸山智義 城本早月、小畑みどり、竹腰光司、市村一彦、武田雄一 ・事務局職員 石川教育次長、小林学校教育課長、宮嶋学校教育係長、小松副主幹 |
| 次 第 | <ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 部会長あいさつ 3 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第1回専門部会における質問事項に対する回答について (2) 今後のスケジュール等について (3) 協議事項の洗出しについて (4) 次回専門部会の開催について (5) その他 4 その他 5 閉会 |
| 主な質問・意見等 | <ul style="list-style-type: none"> ●PTAを検討するに当たり、小中一貫校を今後調査研修すると説明でしたが、小学校なのか小中一貫校なのかで組織も変わってくると思うかどうか。 →2021年4月開校の学校は小学校です。小学校設立後に小中連携を図り小中一貫校の調査研究を行っていくということであります。 ●PTA活動から長い期間が経過をし、現状の問題点や様子が分からないので聞かせていただきたい。 →豊田中学校の会則では評議委員は50名以内となっているが、実際には22名程度で構成されている。生徒数の減少に伴い保護者役員の選出が困難となっているのが現状である。 ●永田小は、児童数減少により校外指導等の役員を同じ保護者が、複数回着任しないといけない状況となっており、組織の見直し等を行っている。 ●豊井小は地区が複数あり、地区によっては、役員の選出が困難となっている。地区を見直し広くすると、役員の負担も増え、知らない地域の人と一緒にになると話しにくいというジレンマを抱えている。 ●PTAが統合するときに、それぞれのPTAの財産についてどのようにするかも検討しておく必要があると思う。 ●4月で委員が交代にあるとあったが、部会が違う委員は交代をしてもわからないので、相談もすることができないため全体会を開いてもらいたい。 ●小中一貫校の調査研究に行うに当たって、地域の皆さんは豊田地域に学校を残すことを強く望んでいます。小学校、中学校を別々に設け、中学校は将来的に中野平や高社中に統合するが小学校は残すこと、小中一貫校にすることで、その後の統合はなく学校が存続する。などこの地域に学校を残すという観点で、大切に調査研究を行っていただきたいと思います。 |

今回のまとめと次
回の検討事項

- 出された意見について、今後検討していく。